

経営比較分析表（令和元年度決算）

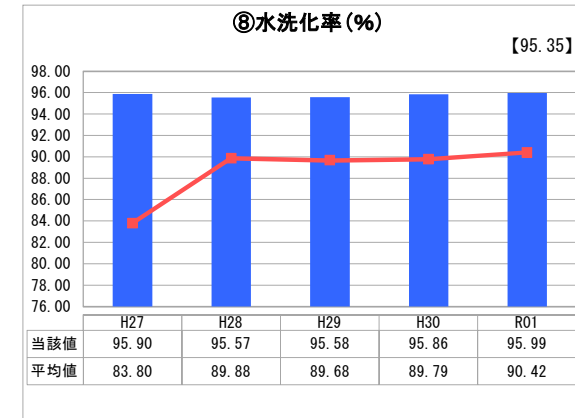
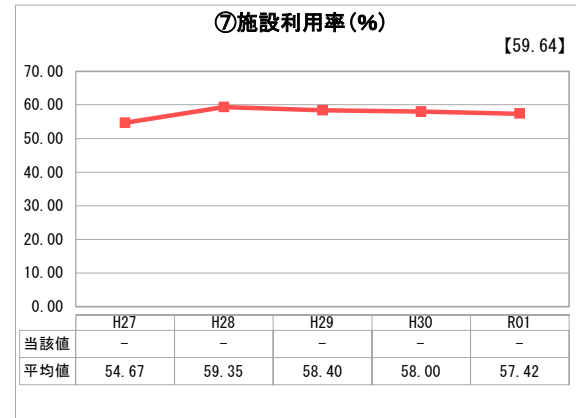
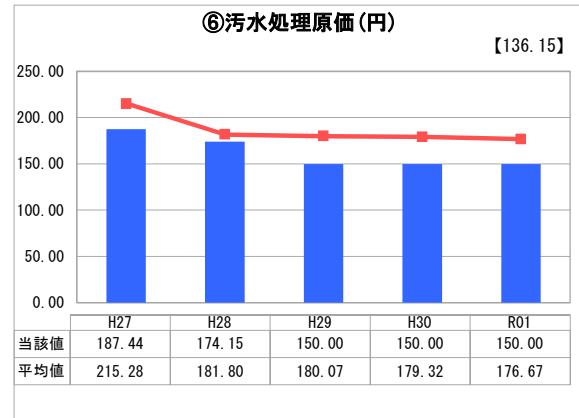
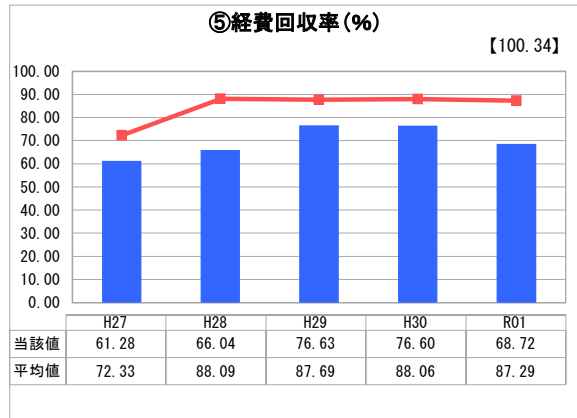
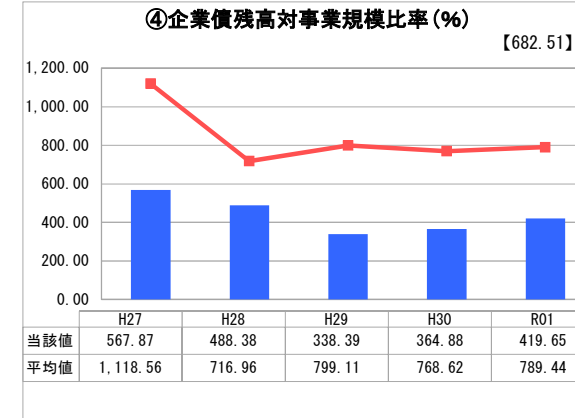
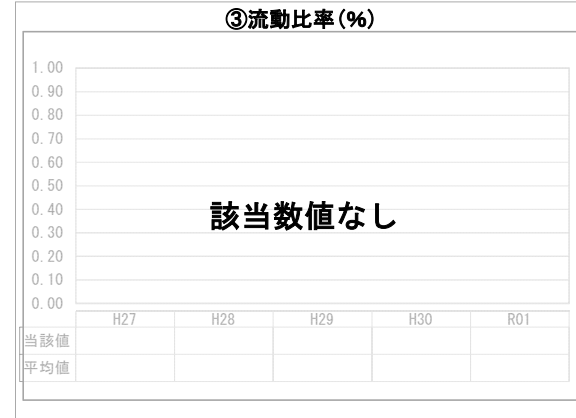
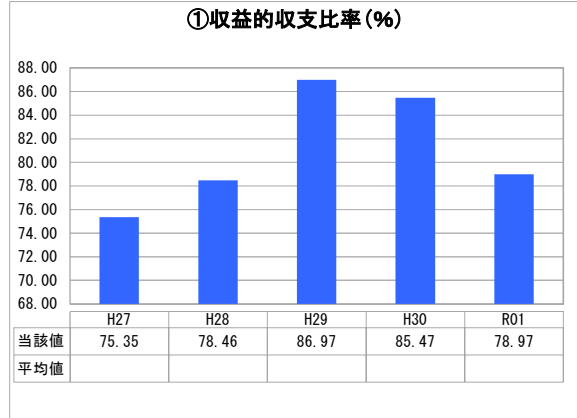
神奈川県 大井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	90.56	73.85	1,792

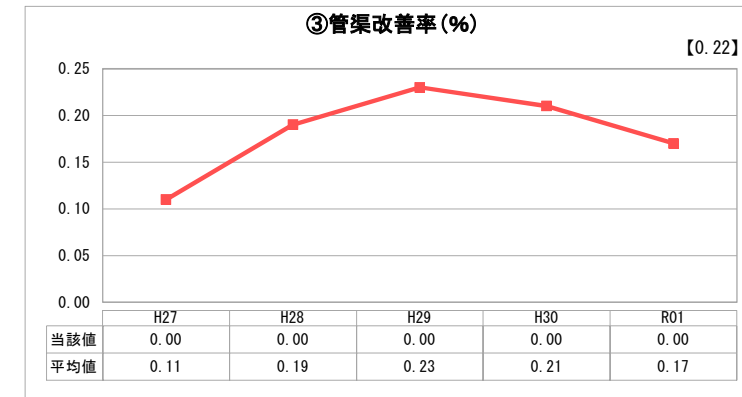
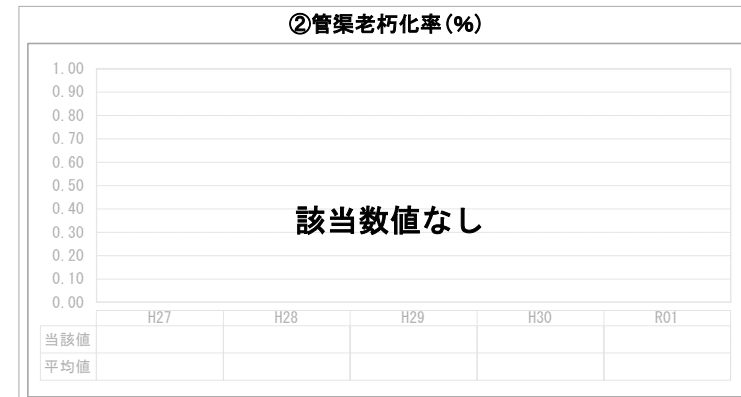
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,326	14.38	1,204.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,651	4.24	3,691.27

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度決算は令和2年4月からの地方公営企業法適用に伴い、同年3月31日をもって打切決算としているため、過去の数値と比較して変動しています。

①収益的収支比率は令和元年度実績においても、78.97%と低く、一般会計からの繰入金に依存している状況です。比率100%に向けた経営改善が必要です。

④企業債残高対事業規模比率は、本町の公共下水道事業の整備は概ね完了しており、地方債の残高も年々減少していますが、打切決算の影響により使用料収入が減少したため、前年度より比率が増加しています。類似団体との比較では低い状態にあります。

⑤経費回収率は、使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%を下回っています。使用料収入の確保と維持管理費の削減が課題です。

⑥汚水処理原価は、過去2年から同数値となっており、類似団体との比較では低い状態にあります。汚水量の増加が望まれます。

⑧水洗化率については、未接続世帯への各戸訪問によるアンケート調査など水洗化率の向上に努めています。今後も比率100%に向けた接続率の向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

本町の公共下水道事業は、昭和61年の供用開始後34年余り経過した状況で、管渠の耐用年数の50年には達していませんが、比較的短い期間に整備したことで将来更新投資時期も集中することが予測されます。

ストックマネジメント計画を策定し、維持管理費の縮減と施設の延命化に取り組んでいきます。

全体総括

本町は、令和2年度の公営企業会計適用により、保有資産や経営状況を把握し適切な事業運営に努めています。

また、施設の老朽化等においても管渠の状況を把握し、計画的に整備を進め適切な管理を行っていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。